

# 令和6年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧

区市町村	実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧										連絡会開催状況		相談状況 <sup>注1)</sup>		その他支援普及事業				
		支援員数	職種		医療機関	行政機関	基幹相談支援センター	保健所・保健センター	相談支援事業所	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容		直接相談(実人数)	電話相談(延べ件数)		
1	中央区	中央区福祉保健部福祉センター	1	保健師	・講演会:年3回①一般区民対象:29名参加②当事者向け(交流会で実施):10名参加、③支援者向け(関係機関連絡会で実施):16名参加 ・高次脳機能障害者交流会:6回、延べ64名参加 ・個別相談:①医師専門相談年2回(8件)②交流会と同日に専門職・保健師相談11件③随時、面接や電話相談(保健師対応)336件 ・関係者連絡会:2回(事業紹介、事例検討会、情報交換等)	○	○		○	○	○		○						2	第1回:区内の相談支援従事者、関係者対象に当事者による講演会を実施:16名参加 第2回:事例検討会(区内相談支援従事者、関係者対象):15名参加	37人	115件	・関係機関(医療機関・就労支援事業所・地域包括支援センター等)から連絡、相談、ケース会議等への参加(102件) ・圏域連絡会、研修等への出席
2	港区	港区立障害保健福祉センター	6	作業療法士 言語聴覚士 精神保健福祉士 社会福祉士	・個別相談(相談員配置) ・講演相談会(区民、当事者、家族対象)、集合相談を実施 ・相談員と当事者家族がペアになり、定期相談会を月1回実施(情報提供・支援機関への紹介等) ・小児領域に特化した領域相談会を4回実施 定期相談会・領域相談会は、障害保健福祉センター指定管理業務として実施	○			○		○									なし	延べ24人	27件	・講演会:令和6年12/21「脳に障害を負った子どもの理解とケア～その人らしい人生を送り続けるために～」参加者:26名 講師:千葉県千葉リハビリテーションセンター高次脳機能障害支援アドバイザー 太田玲子氏/高次脳機能障害の子どもを持つ家族の会ハイリハキッズ代表 中村千穂氏 ・研修会: テーマ:病院としての医療、福祉と地域の連携・その事例 講師:東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座 医師 木下翔司氏 第1回 令和7年1月24日 参加者:18名 第2回 令和7年2月21日 参加者:23名
3	新宿区	新宿区立障害者福祉センター 高次脳機能障害者グループ「竹とんぼ」	1	作業療法士	・相談事業:週1回(金曜日10時～15時)、相談受付、情報提供 ・機能回復訓練事業:週1回(金曜日10～15時)、創作活動(染め物)の当事者プログラム/特別プログラム:区内在住の当事者に向けたプログラムの開催月1回 金曜13時30分～15時 ・関係機関等との連携:情報交換や交流会(対象:高次脳機能障害者及びその家族)	○			○	○	○					○		3	新宿区高次脳機能障害者支援連絡会	延べ168件	延べ20件	機能回復訓練事業(グループ訓練) ・毎週金曜日 染物活動を中心に手工芸を実施 ・地域出店実績 四谷ひろば(1回) センター祭(1回) 手づくりマーケットin新宿区(1回、2日間実施) ・関係機関見学・研修(7回) ・施設間交流会(1回)	
4	文京区	文京保健所 予防対策課 精神保健係	1	看護師	・文京区高次脳機能障害関係講演会の実施 ・情報提供 ・個別相談	○	○	○	○										なし	8人	78件	・講演会:「高次脳機能障害者のリハビリテーション、地域でゆるやかに就労を目指すには～」18名参加 ・個別相談会(9月、10月開催)5名参加	
5	台東区	台東保健所 保健予防課 精神保健担当	1	保健師	区内在住者などからの高次脳機能障害に関する相談に対応 高次脳機能障害に関する普及啓発、情報共有	○	○		○	○	○							委員・署員・児童生	1	台東区精神保健福祉連絡協議会 ・高次脳機能障害にかかる普及啓発の報告 ・精神保健福祉相談について/自殺予防対策について/23条通報について等	0人	39件	MTBI啓発リーフレットの活用 ・幼児用ヘルメット無償配布の通知を送付する際に同封 ・窓口に同リーフレットを置き、来所者に対して啓蒙活動を実施
6	墨田区	すみだ福祉保健センター	1	社会福祉士	・相談支援事業(月曜日～金曜日 9時～16時) 高次脳機能障害者、家族、関係機関からの個別相談に対する相談支援 ・高次脳機能障害者に対するグループ訓練(水曜日午後) 外出、調理、創作活動を通じて障害への自己理解、障害状況の軽減等を目指し、自立、社会復帰の支援や啓発活動 ・講演会:年1回 ・関係機関との連携	○	○		○										2	・令和6年6月28日 高次脳機能障害者支援ネットワーク会議(高次脳機能障害に関する社会資源や各機関の役割等の共有、意見交換) ・令和7年1月22日 高次脳機能障害者支援ネットワーク連絡会(事例検討を行いケースを掘り下げ具体的な提案)	43人	79件	普及啓発活動 ・令和6年度講演会を、障害を持つ本人やご家族、一般区民や支援者を対象に開催「高次脳機能障害と地域医療」参加者21名(会場19名、オンライン2名) ・家族会との連携 ・家族のつどいを3回開催 ・当事者のつどいを2回開催 関係機関との会議に参加・連携 ・墨田区高次脳機能障害者支援ネットワーク会議(年1回) ・墨田区高次脳機能障害者支援ネットワーク連絡会(年1回) ・高次脳機能障害者支援普及事業圏域連絡会(年1回・WEB開催) ・東京都区市町村高次脳機能障害者支援促進事業支援員連絡会(年2回)
7	江東区	江東区障害者福祉センター	3	事務	・相談事業 ・専門相談(毎月1回) ・家族交流事業(毎月1回) ・リハビリ事業(言語聴覚士によるグループ訓練、毎月2回) ・講演会事業(年2回) ・関係施設等支援促進連絡会(年4回) ・支援促進事業パンフレット作成	○	○		○		○	○							4	・前年度実績報告 ・今年度事業予定及び意見交換 ・各事業所紹介、当事者への支援について ・介護保険との連携について ・支援促進パンフレットの更新について ・相談シートの内容について ・事例検討	11人	44件	・リハビリ事業(失語グループ、注意・記憶グループ、それぞれ月2回) ・当事者、家族交流会事業(月1回) ・講演会事業(家族のためのストレス対策とセルフケア、高次脳機能障害の基礎知識と対応) ・江東区障害者福祉センターホームページに事業紹介を掲載 ・区市町村高次脳機能障害者相談支援員連絡会参加 ・区東部高次脳機能障害者支援連絡会参加 ・江戸川区高次脳機能障害者支援事業ネットワーク会議参加 ・東京都リハビリテーション病院実施研修会等参加

※ 本資料は、東京都に提出された令和6年度高次脳機能障害者支援促進事業実績報告書の記載内容をまとめたものです。  
注1) 相談状況は、各自治体の報告書の記載どおりに掲載

# 令和6年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧

区市町村	実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧										連絡会開催状況		相談状況 <sup>注1)</sup>		その他支援普及事業			
		支援員数	職種		医療機関	行政機関	基幹相談支援センター	保健所・保健センター	相談支援事業所	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容		直接相談(実人数)	電話相談(延べ件数)	
8	品川区	品川区旗の台障害児者相談支援センター	2	作業療法士	○	○		○	○									1	区内の相談支援専門員向けの研修(スキルアップ講座) 「高次脳専門相談について」	15人	17件	高次脳機能障害者啓発講座開催 ・2回(3日間コース)参加者17名※延べ(昼34名、夜9名) 機能訓練終了時の職場向けチラシ作成 ・訓練センターに依頼し卒業時に配布 スキルアップ講座 ・相談支援専門員向け
9	目黒区	目黒区高次脳機能障害者支援センター	1	作業療法士	○	○	○	○	○	○	○	○						1	①目黒区高次脳機能障害者支援センター・高次脳機能障害に関する関係機関からの報告 ②意見交換会 (社会資源の共有・ネットワーク作り・地域課題共有等)	直接相談延べ923件 電話相談(91人)	1052件	・連絡会1回:参加機関36機関 目黒区高次脳機能障害者支援センター及び高次脳機能障害に関する関係機関からの報告と小グループに分かれた意見交換会 ・支援セミナー オンライン開催1回(YouTube配信1/20~2/7)、参加申し込み236人、動画視聴回数300回 講演者:宗未来氏(東京歯科大学市川総合病院精神科部長) 内容:「高次脳機能障害者のアンガーマネジメント」 ・サポーター養成研修開催回数2回(10/18、12/4)、参加人数:第1回10名、第2回8名 内容:目黒区内の就労支援機関及び企業を対象に高次脳機能障害の基礎知識やサポーターに期待されるサポート方法、就労支援での注意点、当事者の声など。研修修了者には、修了証とサポーター認定缶バッジを配布
10	大田区	志茂田福祉センター障がい者総合サポートセンター	2	福祉	○	○		○	○	○	○							2	大田区の支援事業報告、区内関係機関の情報交換、ミニ学習会等 第1回:8月8日オンライン開催 第2回:12月6日集合型開催	131件	621件	・区南部圏域高次脳機能障害者支援事業、症例報告等への参加 ・高次脳機能障害者家族会活動への参加、周知等の協力
11	世田谷区	社会福祉法人世田谷ボランティア協会ケアセンターふらっと	1	相談員	○		○											131	①高次脳機能障害の評価などに基づき、今後の支援プログラムや福祉サービスの利用などについて当事者を交えて検討 ②退院後の在宅生活に向けて、住宅改修や福祉用具の手配、転居など個別に必要な支援を実施 ③入院中及び退院時のカンファレンス  (初台リハビリテーション病院6回、世田谷区立保健センター専門相談課12回、東京リハビリテーションセンター世田谷13回、東邦大学大橋病院1回、その他99回)	新規38件 継続50件		1.世田谷高次脳機能障害関係施設連絡会(1回、Zoom) 2.東京都心障害者福祉センター主催研修会 3.区西南部高次脳機能障害者支援普及啓発専門リハビリテーションの充実に参加 ・圏域連絡協議会「令和6年度第2回高次脳機能障害者支援普及事業」(2/25) 4.当事者会「りんごの木」の活動支援 ・定例会(月2回) ・「雑居祭り2024」の参加準備 5.当事者の地域イベントへの参加支援 6.世田谷区障害福祉課・障害者地域生活課との打ち合わせ 7.研修講師(相談員1名または相談員1名と当事者1名が講師として参加) ・はちおうじ高次脳機能障害者家族会「はっちゃん」主催 ・南多摩南部高次脳機能障害者支援センター主催 ・横浜市健康福祉局高齢在宅支援課主催 ・NPO法人わんぱくクラブ育成会「ひかり」主催 ・恵泉女学園中学校クリスマス授業 8.その他 ・高次脳機能障害実践的アプローチ講習会参加(9/29) ・NHKハートネットTV「フクチッチ」取材協力

※ 本資料は、東京都に提出された令和6年度高次脳機能障害者支援促進事業実績報告書の記載内容をまとめたものです。  
注1) 相談状況は、各自治体の報告書の記載どりに掲載

# 令和6年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧

区市町村	実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧										連絡会開催状況		相談状況 <sup>注1)</sup>		その他支援普及事業			
		支援員数	職種		医療機関	行政機関	基幹相談支援センター	保健所・保健センター	相談支援事業所	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容		直接相談(実人数)	電話相談(延べ件数)	
12	渋谷区	1	作業療法士	令和6年度から事業運営を区から基幹相談支援センターに移管し支援を一元化 専門相談窓口：週4日開所 関係機関連絡会を2回開催(6月、11月) 講演会を開催(区民他支援者80名参加) 支援者向け勉強会を開催 就労継続支援B型事業所への支援研修プログラムの取組、研修会を合わせて開催 区内初の高次脳機能障害者家族会が発足し、立ち上げを支援	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2	【1回目6月】 ・令和5年度事業振り返り、専門相談報告 ・令和6年度事業計画 ・就労継続支援B型事業所への支援研修プログラムについて 【2回目11月】 ・上半期専門相談報告(講演会、勉強会、就労継続支援B型事業所への支援研修プログラム) ・家族会からの活動報告 ・ハートバレーしゅやかに情報提供	50人	783件	・講演会(令和6年6月8日)集会形式 当事者の体験談、発症から退院後の地域社会に戻られた現状について 対象：区内在住・在勤・在学者 ・勉強会(令和6年9月5日)集会形式 東京都心身障害者福祉センターより講師派遣し、主に就労支援B型事業所に向けて、高次脳機能障がい基礎知識と対応方法について教示 対象：主に区内就労継続支援B型事業所 ・勉強会(令和7年1月24日)集会形式 当事者講師による高次脳機能障害の支援方法についてグループディスカッション形式にて検討 対象：高次脳機能障害者区民に携わる支援者 ・講演会チラシ掲載 地域住民が使用するコミュニティバスにチラシを掲載することで高次脳機能障害専門相談の周知 ・専門相談リーフレット配布 専門相談リーフレットを改訂し、区内関係機関や区役所内イベント(障がい者週間)に合わせて配布 ・家族会発足支援 当事者家族会の立ち上げを、基幹相談支援センター作業療法士が後方支援
13	中野区	1	臨床心理士	【相談支援】 ・専門相談(当事者・家族対象) ・当センター内一般スタッフに対する助言、指導 ・当事者のグループリハビリの運営(月1回程度) ・家族会への参加・支援 ・毎週火曜日に「総合相談」日を設け、初回相談を集中して受ける体制を整備 【関係機関との連携と社会資源の開拓】 ・基幹型相談支援センターと連携し、家族会や当事者グループを拡充 ・中野区高次脳機能障害関係機関連絡会を開催(年1回)し、すこやか福祉センターや地域包括支援センター、医療機関、就労施設等との連携で支援ネットワークを拡大 【広報・普及活動】 ・高次脳機能障害普及啓発セミナー開催(年1回) ・広報紙「テネーロ」を毎月1回発行	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	2024年10月31日、参加12か所施設(地元病院は1か所参加) 中野区障害者地域自立生活支援センターより昨年度の実績報告。 つむぎでの取り組み等の紹介を行なった。 【主な内容】 1 専門相談は月6→8枠に増やして対応 2 中野区役所新庁舎内で月1回、高次脳機能障害出張相談会を新設 3 相談室がないため対応に苦慮 4 適正な連携を取れる事業所が区内に少なく、対策としてつむぎにおける計画相談の作成を新たに実施	241人	173件	・当事者支援 専門相談後のフォロー ・高次脳グループリハビリ(言語聴覚士が発生や認知を中心に実施)、家族会の開催(家族が参加しやすいように毎月1回同日同時刻に開催) ・高次脳機能障害支援普及事業の各種研修・連絡会等に参加、慶應義塾大学病院にて開催される圏域連絡会や研修に参加 ・介護保険との連携・地域ケア会議への参加要請や、地域包括ケアセンター等への助言 ・学生への対応、学校訪問、先生への助言等支援を実施 ・高次脳機能障害理解促進セミナー開催 8/22「高次脳機能障害との基礎理解と地域連携」 講師：タムス浦安病院・つむぎ専門相談 有賀美紀氏(参加者7名) 10/31「高次脳機能障害のある子どもの支援について」 講師：東京慈恵会医科大学付属第三病院教授 渡邊修氏(参加者29名)
14	杉並区	1	作業療法士・社会福祉士・精神保健福祉士	・専門相談：週5日(月曜日～金曜日) ・支援セミナー(講演会)：年3回開催 ・関係機関連絡会：年2回開催 ・民間事業所等との担当者会議の開催や技術支援	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2	第1回(6/19)委員18名参加 ・今年度の連絡会運営について ・各機関紹介及び自己紹介 ・地域の課題と意見交換 ・失語症サロンの進捗状況 第2回(2/19)委員17名参加 ・自己紹介及び各機関の紹介 ・今年度取組報告 ・東京都高次脳機能障害者相談支援員連絡会について報告 ・各関係機関のトピックス・連携強化及び意見交換等	94名(関係機関からの相談人数を合わせると146人)	1558件	・高次脳機能障害者交流サロン「杉ハイ」の開催12回、参加者総計73名 ・高次脳機能障害者支援セミナーの開催2回 1回目(10月19日、参加者41名) 講師：東京慈恵会医科大学付属第三病院 教授 渡邊修氏 2回目(3月8日、参加者13名) 講師：高次脳機能障害の子どもの会ハイリハキッズ代表 中村千穂氏、区内当事者家族 ・高次脳機能障害者支援専門セミナーの開催(11月13日開催、参加者15名) 講師：高次脳機能障害当事者 内容：通所生活リハビリ事業につながるまでの経過～グループワーク ・家族交流会の実施 1回目(6月15日開催)6家族参加、助言家族2名 2回目(10月12日開催)8家族参加、助言家族2名 3回目(2月8日開催)8家族参加、助言家族2名 ・失語症サロン事業(年10回開催)令和6年6月開始 ・自立支援協議会相談支援部会に参加 ・地域包括支援センター勉強会・地域ケア会議に参加
15	豊島区	1	作業療法士	・相談事業：随時相談(月～金)、専門相談(毎月第4月曜日) ・広報・啓発事業：講演会・セミナー、区報への啓発記事の掲載 ・関係機関連絡会(年2回)開催 ・生活期リハビリ支援事業(モデル事業) ・家族交流会開催	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2	第1回：令和6年7月19日(28名参加) ・R5年度実績報告、R6年度事業予定 ・R5.6年度区市町村支援員連絡会の情報伝達 参加機関同士の情報交換 第2回：令和7年2月21日(20名参加) ・区市町村支援員連絡会の情報伝達 ・事例検討(グループワーク)	一般相談158件(22人) 専門相談21件(11人)	358件	1. 講演会(12月6日) 参加対象：区内在住在勤の当事者・家族・支援者 参加者：38名 意外と身近な「高次脳機能障害」に気付くコツ、支援のコツ 講師：目白大学大学院リハビリテーション学専攻 教授 會田玉美氏 2. 周知啓発 ・図書館展示：テーマ「障害者支援」(高次脳機能障害や失語症を含む)周知パネルと関連図書 の展示・貸し出し。期間：9月27日～10月24日 ・区広報誌やホームページへの周知記事の掲載 3. 家族支援事業 2月3日(土)家族交流会開催 ・参加者：家族3名

※ 本資料は、東京都に提出された令和6年度高次脳機能障害者支援促進事業実績報告書の記載内容をまとめたものです。  
注1) 相談状況は、各自治体の報告書の記載どおりに掲載



# 令和6年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧

区市町村	実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧											連絡会開催状況		相談状況 <sup>注1)</sup>		その他支援普及事業	
		支援員数	職種		医療機関	行政機関	基幹相談支援センター	保健所・保健センター	相談支援事業所	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容	直接相談(実人数)		電話相談(延べ件数)
20	足立区 足立区障がい福祉センター	2	作業療法士 福祉	1 相談支援 ・足立区障がい福祉センター ア自立生活支援係:障がい者ケアマネジメントの実施・専門職による個別専門相談・評価 イ就労促進訓練係:専門職による評価、就労プログラムの提供、定着支援 ウ社会リハビリテーション係:高次脳機能障がいと診断された方の作業療法、言語療法、集団訓練、復職支援など (2) さくら会:相談支援の実施 2 セミナー (1) 失語症セミナーの実施 講師:目白大学小林智子先生、当事者講師5名(8月25日)参加者20名 (2) 交流・勉強会の開催 ・家族向け交流会(9/28)参加者8名 ・本人交流会(10/30)参加者18名 ・相談勉強会(11/16)参加者8名 (3) 高次脳サポーター育成研修の開催(5日間) 受講者7名	○	○											12	(1) 運営委員会(9回) ・運営委員紹介 ・今年度の予定について ・情報共有 ・ネットワークの役割分担・準備・反省 ・次年度に向けて (2) ネットワーク(3回) 第1回(6/20) 困っていることの共有(25名参加) 第2回(10/26) 区民向けセミナー-就労に向けた健康管理と家族のサポートについて学ぶ(30名参加) 第3回(1/16) 事例検討会(20名参加)	19件	353件	・相談日より(通信) ・SNSを活用しての普及啓発 ・問い合わせのあった病院にさくら会と足立区のパンフレット送付 ・家族・当事者交流会
21	葛飾区 葛飾区地域活動支援センター	1	心理発達専門員	・高次脳機能障害者デイスサービス:月・火・水 定員各10名 ・言語デイスサービス:火・木 定員各10名 ・高次脳機能障害者家族会支援:定例会年6回 ・家族会ミニデイスサービス:毎月第3土曜日 ・失語症の会:毎月第2土曜日 ・高次脳機能障害講演会(10/27)参加者23名 ・失語症講座(11/3)参加者4名 ・高次脳機能障害者支援機関連絡会 講演会(7/12)参加者28名、事例検討会(中止) ・失語症講演会(11/3)参加者20名	○	○										2	第1回(7/17) 講演会「高次脳機能障害と共に歩む～就労支援を中心に」 講師:高田耕太郎氏(いずみ記念病院医師)参加者:28名 第2回(1/22) 事例検討会 講師:高田耕太郎氏(いずみ記念病院医師)参加者集まらず中止	1件	77件	・高次脳機能障害者講演会(10/27) 講師:東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科教授 渡邊修氏 参加者:23名 ・失語症サポーター養成講座応用編(11/3) 講師:四方田博英(言語聴覚士)参加者:4名 ・失語症講演会(11/3) 講師:四方田博英氏(言語聴覚士)参加者:20名	
22	江戸川区 NPO法人東京ソテリア地域活動支援センターはるえ野	2	看護師 作業療法士	・専門相談会(年12回) ・随時相談 ・集団訓練(認知機能回、就労支援回) ・ネットワーク会議(3回) ・家族相談会(年6回) ・社会資源の把握及び開拓 ・普及啓発(高次脳機能障害について広く区民に広報) ・支援拠点機関(東京都心身障害者福祉センター)及び地域拠点機関(東京リハビリテーション病院)との連携。 ・ピアサポーターの育成	○	○										3	ネットワーク会議 ・事業報告、事例検討、当事者・関係者からの報告、意見交流等	160人	232件	【普及啓発事業】 講演会等(12/8)参加者130名 高次脳機能障害・失語症の『言葉と人をつなぐ朗読』 ・当事者講演 ・絵本朗読 場所:タワーホール船堀	

※ 本資料は、東京都に提出された令和6年度高次脳機能障害者支援促進事業実績報告書の記載内容をまとめたものです。  
注1) 相談状況は、各自治体の報告書の記載どおりに掲載

# 令和6年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧

区市町村	実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧										連絡会開催状況		相談状況 <sup>注1)</sup>		その他支援普及事業				
		支援員数	職種		医療機関	行政機関	基幹相談支援センター	保健所・保健センター	相談支援事業所	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容		直接相談(実人数)	電話相談(延べ件数)		
23	八王子市	医療法人社団永生会永生病院 高次脳機能障害者相談室はっば	2	言語聴覚士 作業療法士	平成30年度より事業開始。 支援員配置2名+非常勤スタッフ2名。 相談対応:月~土(9:00~17:00) 専用相談携帯開設し相談対応	○	○												2	<議案1>事業報告・事業説明 <議案2>支援事例紹介 <議案3>八王子市失語症者向け意思疎通支援者派遣事業について <議案4>各機関からの報告 <議案5>その他(意見交換)	121名	655名	1. 社会資源の把握・開拓 ◆南多摩高次脳機能障害支援施設マップ第3版配布 2. 普及啓発 ◆当事者家族向け講演会の開催1回 ◆HP更新、パンフレット配布 3. 当事者・家族交流支援 ◆はちおうじ高次脳機能障害者家族会「はっちゃん」運営補助 4. 訓練機能 ◆集団リハビリテーションプログラム 対象:高次脳機能障害の診断のある方 65歳以下市内在住しない市内医療機関・事業所利用者
24	武蔵野市	社会福祉法人武蔵野市障害者福祉センター 高次脳機能障害相談室ゆいっと	1	言語聴覚士	・相談事業 支援員による電話相談、面談、訪問など 5日/週 ・障害者福祉センター専門嘱託医による相談 1回/月(12回/年) ・当事者のフリーサロンの開催(土曜サロン2回/月を含む) 2回/月(25回/年) ・家族会の開催 1回/年 ・関係機関連絡会の開催 2回/年 ・関係機関連絡会運営委員会の開催4回/年	○	○	○											2	第1回(内容)講演 「高次脳機能障害者支援におけるケアマネジメントのコツ」 東京慈恵会医科大学付属第三病院リハビリテーション科渡邊修先生(参加者)58名 第2回(内容)事例検討 「高次脳機能障害者の支援に繋ぐ～病院から地域へ～」事例提供者:武蔵野陽和会病院辻本氏、矢尾氏(作業療法士)、アドバイザー東京慈恵会医科大学付属第三病院リハビリテーション科渡邊修先生(参加者)43名	相談実人数61名 面接・訪問件数468名	1369件	・東京都高次脳機能障害者支援普及事業北多摩南部圏域連絡会 ①6市合同会議:3回出席(WEB開催) ②地域支援研修会:2回出席(WEB開催) ・区市町村高次脳機能障害者相談支援員連絡会2回出席(1回はWEB開催、2回目は参集開催にて現地参加) ・北多摩南部保健医療圏地域リハビリテーション支援事業「脳卒中多職種研修会」にて講演(11月28日) 「武蔵野市の高次脳機能障害支援窓口ゆいっとの役割」(北多摩南部保健医療圏内の医療従事者、行政、高次脳機能障害相談窓口担当者対象) ・武蔵野市居宅介護支援事業所における委託介護支援の特定事業所加算のための勉強会にて講演(11月8日) 「高次脳機能障害の症状及びケアマネジメントのコツ」(居宅介護事業所のケアマネージャー対象) ・介護保険住宅改修施工業者研修会にて講師(12月9日) 「高次脳機能障害とは～皆さんに知って欲しい事～」(施工業者及び在宅介護・地域包括支援センター職員対象)
25	三鷹市	三鷹市健康福祉部障がい者支援課 基幹相談支援センター担当	2	保健師 社会福祉士 精神保健福祉士	市内在住の高次脳機能障がい者及びその家族・支援者等を対象に、以下の事業を実施 ①年間を通して基幹相談支援センターにおいて相談支援を実施。必要に応じて受診や事業所見学の同行等を行い、連携を促進。 ②専門医、療法士による個別相談会(土曜日開催 5回) ③療法士による個別の来所あるいは訪問相談(平日開催 2回) ④三鷹市ホームページに高次脳機能障がい相談会の案内を掲載するとともに同障がいについての周知。	○	○	○											2	8月27日・①講義「高次脳機能障がいのある方を支援するための基礎知識」講師:武蔵野赤十字病院リハビリテーション科医師秋元秀昭先生・作業療法士扇浩幸氏(三鷹市高次脳機能障がい相談会相談員) ②各支援機関 質疑応答(感想)・活動報告(自己紹介、質疑応答(感想)、高次脳機能障がい者への支援状況(支援内容の変化や新たな取り組み等)等の活動報告) 2月25日・「親なき後を見据えた支援の在り方について」(事例検討、グループワーク)	34人	202件	
26	青梅市	青梅市障がい者サポートセンター	2	保健師 看護師	1. 相談支援 相談窓口は、市の障がい者福祉課と障がい者サポートセンターが実施。 医療機関や在宅サービス事業所と連携 2. 認知グループ訓練の実施(OKG) 月2回(OT、保健師、看護師等)、 新型コロナウイルス感染拡大の余波を危惧し半日体制を継続。 参加者の状況に応じて、随時電話等で健康面や課題の進捗状況把握。 3. 関係機関との連携 医療関係者、家族会、居宅介護支援事業所および障害福祉サービス施設等と事例検討や連絡調整など実施。 4. 広報、普及啓発 9月に当事者、家族対象に絵画教室を実施。 12月の障害者週間の折に、市役所ロビーで、OKG活動のパネルやパンフレット等による高次脳機能障害支援活動の紹介。OKGメンバーの作品展示を実施。	○	○											年金事務所	3	「わかくさ」通所者の生活支援など	実41件 延べ410件	延べ482件	1. 家族会支援 定例会は、年度3回実施。新規相談時臨時に合同面談を実施した。家族会運営の就労支援グループ「アトリエなんてん」は、新規紹介や利用中の当事者、家族等の相談を受ける。コロナ感染予防のため半日体制を継続。 2. 「わかくさ」利用への支援:利用を紹介し、体験通所に同行。動機づけ支援を実施するとともに定着支援を実施。 3. 就労にむけての支援 就労移行等を利用するために同行訪問や連絡調整。「わかくさ」と認知グループ訓練OKGを連動させ就労への動機づけを実施。 障害者就労支援センターと連携 4. 西多摩高次脳機能障害支援センターと合同で専門相談を実施

※ 本資料は、東京都に提出された令和6年度高次脳機能障害者支援促進事業実績報告書の記載内容をまとめたものです。  
注1) 相談状況は、各自治体の報告書の記載どおりに掲載

# 令和6年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧

区市町村	実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧										連絡会開催状況		相談状況 <sup>注1)</sup>		その他支援普及事業	
		支援員数	職種		医療機関	行政機関	基幹相談支援センター	保健所・保健センター	相談支援事業所	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容		直接相談(実人数)
27	府中市 社会福祉法人あけぼの福祉会 地域生活支援センターあけぼの	1	作業療法士	・学習会(年1回)、つながろう会(年2回)、家族さろんやさろんdeほ〜(年6回)を各々企画し実施。 ・相談支援:通院同行など医療機関との連携を重視。 ・その他:医療機関から復職や就労支援の依頼が来ることも多かった。	○	○										2	<つながろう会>関係機関連絡会 ・7月25日(木)13:30-15:00 施設見学(樹林の家見学) 参加者:16名 ・2月27日(木)13:30-16:00 事例検討会 参加者:23名	51人	来所64人 同行23人 訪問22人 電話148人 メール・FAX29人 カンファ128人 関係機関347人 他2人 合計763人	・さろんの開催 家族さろん:全6回 さろんdeほ〜の:全7回 ・学習会の開催(2025年1月22日) 「障害者就業・生活支援センター オープナーの紹介〜高次脳機能障害の方の就労支援・生活支援〜」参加者22名 ・出張講座(2025年2月7日) 「脳卒中多職種研修会」参加者 63名 ・書籍の貸し出し 1件
28	調布市 社会福祉法人調布市社会福祉協議会	4	社会福祉士	・相談支援 ・普及啓発・理解促進・支援者養成等のための講演会実施 ・関係機関連絡会開催 ・北多摩南部医療圏関係機関連絡会への参加 ・広報紙等による事業PR	○	○										3	・調布市高次脳障害者支援促進事業計画や進捗の確認、共有 ・各機関の高次脳機能障害者支援促進事業の動きについて	69人	301件	・支援者向け講習会「高次脳機能障がいのある方を支援するための基礎知識」(7/8) 参加者:49人 内容:主に初任者に向けた講習会 講師:東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科教授 渡邊修氏 ・高次脳機能障がい事例検討会(9/25)参加者:24人 内容:グループに分かれ事例検討・意見交換 講師:東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科教授 渡邊修氏 ・当事者向け講習会「フツの主婦が高次脳機能障がいに変わった話〜わたしのトリセツ〜」(11/9)参加者:30人 内容:高次脳機能障がいとなりフツの主婦がママの生活を一変させた自身の経験談 講師:福島芳美氏(三鷹市ノピアサポーター) ・支援者向け講習会「失語症を学んで実践しよう」(1/23)参加者:23人 内容:失語症の基礎を学び、実践ワーク 講師:相馬尚美氏(アイビー言語聴覚士) ・春の多摩マインドフルコンサート2025(3/2)参加者60人 内容:高次脳機能障がい当事者による演奏会
29	町田市 社会福祉法人まちだ育成会 ひかり療育園	1	相談員	1.相談支援:電話、面接、訪問、関係者会議 2.当事者・家族の支援:①当事者、家族のグルーピングを実施。(13回/年※年度末の振り返りを含む)② イベント:夏祭り(販売)、年末パーティー(調理活動)、「No Problem」参加(音楽発表)、「in町田」当事者発表)③ひかりサロンニュースの発行(12回/年) 3.関係機関との連携(31機関):会議方式で情報交換等実施(3回/年)。南多摩医療圏域協力施設連絡会へのWEBによる参加(12回) 4.研修会及び講演会の開催:当事者・家族・支援者・一般市民を対象に普及啓発(年2回)	○	○	○	○	○	○	○					3	第1回7月26日 各機関からの情報提供と近況報告 第2回11月22日 各機関からの情報提供と事例検討 第3回2月28日 各機関からの情報提供 東京都心身障害支援センターから報告 ひかりサロンの活動報告	23件	47件	・高次脳機能障がい者を支援する医療と福祉in町田(6月12日(水曜日)参加) ・No Problem(脳損傷)in南多摩(11月24日(日曜日)出演)
30	小金井市 小金井市障害者地域自立生活支援センター	1	保健師	1.相談支援 ・当事者、家族等からの個別面談・助言・情報提供 ・必要に応じた支援計画を作成 2.関係機関との連携 3.社会資源の把握・開拓 4.広報・普及啓発 ・市民への広報 ・高次脳機能障害に関する理解促進のための研修会等の企画・実施	○	○										1	9/4講演会「高次脳機能障害のある方の地域におけるリハビリテーションとは」 講師:東京慈恵会医科大学附属第三病院リハビリテーション科渡邊修氏	12件	203件	・ピア相談(8回、相談員懇談会1回) ・北多摩南部圏域6市合同会議参加(7/1、10/21、1/20) 北多摩南部圏域研修会参加(8/4、2/16) ・区市町村高次脳機能障害者支援促進事業支援員連絡会参加(6/19、12/11) ・いちごえ会(当事者・家族会)との意見交換と必要な情報共有2回 ・脳卒中多職種研修会(第5回) (12/12)小金井市の高次脳機能障害者支援について発表

※ 本資料は、東京都に提出された令和6年度高次脳機能障害者支援促進事業実績報告書の記載内容をまとめたものです。  
注1) 相談状況は、各自治体の報告書の記載どおりに掲載

# 令和6年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧

区市町村	実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧										連絡会開催状況		相談状況 <sup>注1)</sup>		その他支援普及事業				
		支援員数	職種		医療機関	行政機関	基幹相談支援センター	保健所・保健センター	相談支援事業所	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容		直接相談(実人数)	電話相談(延べ件数)		
31	小平市健康福祉部障がい者支援課	5	保健師(市職員・常勤)	保健師が相談窓口として、医療機関や障害福祉サービス事業所等と連携しながら在宅生活を支援。 北多摩北部地域高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会(圏域5市)では、総会、運営委員会、事例検討会に出席、関係機関と連携。 令和7年1月に開催した市民交流事業は当日会場と後日オンデマンド配信。運営委員として、協議会事務局に協力し実施。 市内高次脳機能障がい者支援担当者連絡会を2回(1回目は主に、情報共有。2回目は、講師の東京病院医師による話題提供および市内事業所の意見交換)を実施。	○	○			○	○	○							10	北多摩北部地域高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会 5月:第15回総会開催 6月:第1回運営委員会 区市町村高次脳機能障害者支援促進事業連絡会(オンライン)参加 7月:第2回運営委員会 10月:事例検討会・2事例をグループで検討。 11月:第2回市内連絡会 12月:区市町村高次脳機能障害者相談支援員連絡会参加 令和7年1月:市民交流事業(会場、オンデマンド) 3月:第3回運営委員会 市内連絡会(対面開催)	面接3件/訪問6件	電話7件/関係機関連絡44件		
32	日野市高次脳機能障害者支援センターつくし	1	精神保健福祉士 社会福祉士	(1)相談支援事業 ・新規相談19件 実人数38人 (2)関係機関等との連携事業 ・カンファレンス27回 (3)社会資源の把握・開拓事業 ・障害福祉サービスや医療機関など、これまでつながりのなかった機関との連携 (4)広報・普及啓発事業 ・高次脳機能障害者関係機関連絡会参加 2回 ・「脳損傷 No Problem in 南多摩2024」当事者講演等、スタッフとして参加。 日野市高次脳機能障害者支援センターつくしの活動紹介ブースにポスター展示・解説。	○	○			○	○	○	○						6	第1回関係機関連絡会 対象:当事者、ご家族、支援者、市民向け 内容:「高次脳機能障がいと仕事~当事者が仕事をし、働き続けるためには~」講師:守矢亜由美氏、鳥津渡氏、参加者60名 第2回関係機関連絡会 対象:つながりのある医療機関 内容:「情報・意見交換会~支援のなかで、ひっかかっていることはありますか~」ファシリテーター江村俊平氏、参加者16名 障害福祉課・創隣会定例会 4、7、12、2月(ケースの共有等)	38件	103件	・調布ドリーム主催のピアサポート研修に参加 ・障害者週刊のイベント開催に向けての委員会に出席 ・町田市、国分寺市の連絡に参加 ・多摩療護園の職員研修を多摩療護園と共催:「高次脳機能障害の基本理解について」講師東京都心身障害者福祉センター守矢亜由美氏。支援に苦慮していること、支援方法についてディスカッション ・日野市高次脳機能障害と家族の会かしのきひのの定例会に参加 ・多摩圏域高次脳機能障害協力施設会議:症例検討のケース提供 ・デイサービスなのはなの運営支援(NPO法人愛隣舎主催) ・ピアサポート茶話会を開催(全4回):鳥津渡氏といつかピアサポーターとして活動したい当事者が「経験を差出し、受け取る」経験を重ねた。その他、支援員や心理士をゲストに交流 ・南多摩圏域関係機関連絡会に出席	
33	東村山市健康福祉部障害支援課	2	保健師 事務員	・北多摩北部地域高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会の令和6年度事務局(運営委員会3回、協議会・事例検討会1回) ・市民交流事業(講演会)の開催(打合せ3回) ・担当ケースワーカーと連携し、電話相談、面接相談、訪問相談を実施。 ・関係機関との連携のための情報共有やケース会議は105件 ・「高次脳機能障害者支援促進事業連携会議」年1回開催	○	○			○	○	○							1	・高次脳機能障害者支援の活動報告、実際の相談内容等を報告。 ・各関係機関より情報提供・情報交換、高次脳機能障害者支援リーフレットについて意見交換を行い最新版に更新。高次脳機能障害のある方の対応についてもリーフレットがある良いとの意見があるため今後検討。 ・各関係機関で高次脳機能障害のある方のケースについて事例検討。 ・高次脳機能障害のある方に対して各事業所で工夫している支援などについて、意見交換。 ・高次脳機能障害のある方の社会資源について情報共有。	48件	72件	・地域の関係機関に高次脳支援促進事業について周知し、延相談件数が増加 ・市内の包括支援センターや障害福祉サービスを提供している事業所等に、当市作成のリーフレットを配布 ・高次脳機能障害の方が入所している施設に定期的に電話や訪問を実施 ・都や他市で実施された高次脳機能障害者の支援等の研修会に積極的に参加し、係内で情報共有 ・市内の高次脳機能障害のある方を支援している関係機関に必要時訪問し、事業者や利用者との対話を実施 ・都内の家族会の活動について情報収集し、支援機関や対象者に情報を周知 ・高次脳機能障害者支援関係機関連携会議を年に1回(令和7年1月)開催 ・令和7年1月に、高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会の市民交流事業で講演	
34	国分寺市社会福祉法人万葉の里国分寺市障害者センター内地域活動支援センターつばさ	2	相談支援専門員 相談支援員	1. 相談支援 必要な情報(医療機関、地域資源、制度、福祉サービス、就労、生活技術)や障害理解についての情報提供を実施 2. 関係機関との連携 令和6年度より集合かつ日中の時間帯で、関係機関連絡会を3回開催 3. 社会資源の把握及び開拓 国分寺市と近隣他市の高次脳機能障害者支援を実施する事業所や医療機関へ訪問し、ネットワーク作りを実施 4. 広報及び普及啓発 国分寺市における支援拠点機関として、生活支援に必要な情報の提供及び、普及啓発活動を実施。当センター発行の「高次脳機能障害パンフレット」を持参し、高次脳機能障害についての普及啓発、令和7年度の改訂版発行に向けて準備。当事業のアドバイザーの長谷川幹医師が代表理事を務める日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会全国大会に実行委員として参加。国分寺市内だけでなく、東京都~全国の普及啓発事業に協力。	○	○	○	○	○	○	○	○	○						3	第1回令和6年6月27日(木)14時~16時 「高次脳機能障害の方の復職支援」参加:35名 内容:①講演「高次脳機能障害の方の復職を支える際のアセスメントと情報提供のポイント」(守矢氏)②講演「復職支援の概要と実際(職業評価~職業準備支援~ジョブコーチ支援など)」(田村氏)③参加者から寄せられた質問を基にトークセッション(守矢氏・田村氏) 第2回令和6年11月22日(金)14時~16時 鼎談「高次脳機能障害の方の心理面の変化・必要な支援」(鈴木氏・山口氏・長谷川氏)参加:38名 内容:当事者、公認心理士、リハビリテーション科医師3名を講師に招き、高次脳機能障害者の心理面の変化と必要な支援について鼎談 第3回令和7年3月15日(土)14時~16時 内容:講演「当事者が語る高次脳機能障害と私の就労」(K氏・霜島氏・長谷川氏)参加:15名	18人	1148件	【協力】 ・第13回日本脳損傷ケアリング・コミュニティ学会東京大会実行委員会 主催:一般社団法人日本脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会 協力:社会福祉法人万葉の里 地域活動支援センターつばさ 開催日:令和6年7月6日(土)・7日(日) ・高次脳機能障害者支援普及事業「北多摩西部医療圏 高次脳機能障害者支援ガイド」 発行:村山医療センター 掲載:社会福祉法人万葉の里 国分寺市障害者センター
35	国立市健康福祉部しょうがいしゃ支援課支援係	1	精神保健福祉士 言語聴覚士	(1)高次脳機能障害者の相談支援 (2)家族会への出席 (3)市内外通所施設の視察・連携強化 (4)講演会等の企画・運営 (5)高次脳機能障害者のためのサロン事業 毎週水曜日 全48回(令和6年4月1日~令和7年3月31日)実施 外出の機会の乏しい方およびしょうがい福祉サービスにつながらない方の居場所づくりや、自立の促進を目的として、平成26年度より事業を開始	○				○	○	○	○						5	地域の事業所等と連絡会、関係者会議(オンライン会議を含む)等を行った。	66人	924件	【開催・企画実績】 (1)専門職向け研修会「ある家族の20年~高次脳機能しょうがいとともに~」 ・日時:令和7年2月7日(金)18時00分~19時45分 ・内容:講演、体験談や事例報告 ・講師:長谷川幹氏(世田谷公園駅前クリニック名誉院長)、当事者家族2名 ・概要:妻が高次脳機能しょうがいである医師と市内当事者家族による語りを中心に、高次脳機能しょうがいしゃの家族の戸惑いや苦悩を共有し、家族にとって必要な支援について考える。 【参加実績】 高次脳機能しょうがいに関する研修会等への参加:3回	

※ 本資料は、東京都に提出された令和6年度高次脳機能障害者支援促進事業実績報告書の記載内容をまとめたものです。  
注1) 相談状況は、各自治体の報告書の記載どおりに掲載

# 令和6年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧

区市町村	実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧										連絡会開催状況		相談状況 <sup>注1)</sup>		その他支援普及事業				
		支援員数	職種		医療機関	行政機関	基幹相談支援センター	保健所・保健センター	相談支援事業所	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容		直接相談(実人数)	電話相談(延べ件数)		
36	福生市	福生市役所福祉保健部障害福祉課相談支援係	2	精神保健福祉士 作業療法士															12	・ケース対応検討 ・情報共有 ・近隣病院との連携について ・今後の方向性について	22件	519件	広報、ホームページでの周知
37	狛江市	狛江市福祉保健部福祉相談課障がい者基幹相談支援センター担当相談支援係	6	社会福祉士 精神保健福祉士 保健師																開催していない	実人数 8名 延べ人数 23人	本人 20人 家族 3人 支援者 5人	高次脳機能障がい茶話会“トーク&トーク”(4回実施) ・症状や治療、リハビリ等への理解を深めた。 ・専門職から公的なサービス案内や治療等の専門的な説明や助言を行った。 ・何度も参加される方もおり、外出や交流の場となっている。
38	清瀬市	清瀬市福祉子ども障害福祉課	1	社会福祉士 精神保健福祉士															6	・地域生活を再構築するプロセスや課題について当事者の体験を聞く市民交流事業を実施 ・各市から1事例を提出し、多職種で検討することを目的に、事例検討会を実施	2人	2人	――
39	武蔵村山市	武蔵村山市健康福祉部障害福祉課	1	保健師															12	情報交換、情報共有	1人	12人	・案内があった講演会や交流会などのチラシ掲示や必要とする方へ情報提供 ・市主催の講演会の開催
40	多摩市	社会福祉法人多摩市社会福祉協議会	1	社会福祉士															2	第1回連絡会(令和6年7月) ・各事業所の取り組み ・「障がい者地域活動支援センターあんど」の支援について 第2回連絡会(令和7年3月) ・今年度の事業報告 来年度の事業スケジュール ・各事業所の取り組み	107人 延べ 160 件	117人 延べ 321 件	① 広報普及 ・図書コーナーでの関連図書の展示・閲覧 ② サポーターの育成・登録、グループ活動での実践(新規登録者1名、計3名登録)
41	稲城市	稲城市障害者総合相談センターマルシェいなぎ	1	社会福祉士 精神保健福祉士															2	・『高次脳機能障害 生活・就労評価』 東京都心身障害者福祉センター:村尾氏 ・都の高次脳機能障害支援情報提供 東京都心身障害者福祉センター:守矢氏 ・状況報告 マルシェいなぎ ・その他情報共有等 各機関より	26件 (6人)	4件 (36件)	・南多摩高次脳機能障害支援センター協力施設会議参加(12回) ・南多摩圏域内高次脳機能障害者支援連絡会(1回) ・区市町村高次脳機能障害者支援促進事業支援員連絡会(1回) ・No! Problem(脳損傷)in 南多摩2024 南多摩高次脳機能障害支援センター協力施設会議では、各市や団体の近況報告と情報共有、事例検討会を実施。南多摩圏域内及び市区町村の高次脳機能障害支援連絡会にて、高次脳機能障害に関わる最新の情報共有、事例検討など実施。
42	羽村市	羽村市福祉健康部障害福祉課	3	保健師 作業療法士																	8件	61件	・家族懇談会の実施 ・医療機関(2機関)との情報共有 ・通所介護施設と情報共有
43	あきる野市	あきる野市健康福祉部障がい者支援課	1	保健師																必要に応じ、各機関と連携を図った。 ケース対応の検討、状況報告	11人	33件	――

※ 本資料は、東京都に提出された令和6年度高次脳機能障害者支援促進事業実績報告書の記載内容をまとめたものです。  
注1) 相談状況は、各自治体の報告書の記載どおりに掲載

# 令和6年度区市町村高次脳機能障害者支援促進事業実施状況一覧

区市町村	実施機関	支援員		支援事業の実施状況	連絡会等構成機関一覧										連絡会開催状況		相談状況 <sup>注1)</sup>		その他支援普及事業		
		支援員数	職種		医療機関	行政機関	基幹相談支援センター	保健所・保健センター	相談支援事業所	就労支援機関	通所等施設関係	当事者・家族会	高齢・介護・看護	児童・教育機関	社会福祉協議会	その他	開催回数	内容		直接相談（実人数）	電話相談（延べ件数）
44	西東京市 西東京市保谷障害者福祉センター	1	相談支援専門員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高次脳機能障害の市民、家族向けの電話相談を週2日から週5日に拡大</li> <li>・市民向けに高次脳機能障害講演会を実施。市民や関係機関職員等26名が参加</li> <li>・センター通所者の利用者・家族の相談会（東京病院リハビリテーション科新藤医師）を11月に実施し、当事者2名、家族1名が参加</li> </ul>	○											グループホーム	2	東京病院リハビリテーション科新藤医師と打ち合わせ（7月講演会、11月相談会）	39人	77件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北多摩北部地域高次脳機能障害者支援ネットワーク協議会</li> <li>・総会出席 5月</li> <li>・事例検討会出席、事例発表 10月</li> <li>・市民交流事業「高次脳機能障害者と共に～自立と社会参加に向けて～」令和7年1月</li> <li>・講演会「高次脳機能障害を知る～高次脳機能障害との向き合い方～」</li> <li>東京病院リハビリテーション科新藤医師 6月</li> <li>・高次脳機能障害相談会開催</li> <li>東京病院リハビリテーション科新藤医師 11月</li> <li>・区市町村高次脳機能障害者支援促進事業支援員連絡会出席 6月/12月</li> <li>・国立病院機構・東京病院研修会出席 9月/11月</li> <li>・西東京高次脳当事者会 当事者主催の茶話会等を側面支援（計12回）</li> <li>・高次脳家族会（高次脳カフェ）参加</li> </ul>
45	奥多摩町 奥多摩町福祉保健課	1	保健師	年48回（月4回）の高次脳機能障害の相談窓口を開設。広報にて、毎月の相談窓口の周知と高次脳機能障害についての周知をし、必要な方が相談しやすい状況をつくる。相談者の状況に応じて、相談日以外にも対応。	○													2件	2件	毎月広報で、相談日の日程を周知及び高次脳機能障害について説明	

※ 本資料は、東京都に提出された令和6年度高次脳機能障害者支援促進事業実績報告書の記載内容をまとめたものです。

注1) 相談状況は、各自治体の報告書の記載どおりに掲載